

声

みんなのひろば



(ナスパルタウン)

自然と利便性の 共存に向けて

沼田正貴

先日、自治会の懇親会が催された時、私は近くの小川で子供達と遊んでいて、岩陰で蛇の抜殻を見つけてきました。私が、「蛇の抜殻だぞ〜。」と騒いだところ子供達は私の周囲に集まってきました。田舎ならではの長閑な出来事に、私は小さな喜び

を感じておりました。近い将来、この付近に山陰道とインターが建設され、交通利便性は良くなりますが、反面、交通安全面・騒音公害等を非常に心配しております。我々大人達は次世代を担う子供達に静穏な環境を残していく義務がありま

す。我々も含め、行政に携わる多くの大人たちは、今一度、三現主義(現場・現物・現実)を再確認し、山陰道並びにインター建設沿線地区に対し、安全・環境両面において最良の策を講じ続けていく必要があります。



(平田)

僕らの 居場所

森田みゆき

大山町平田にありますストーク作業所は農業を中心とした就労継続支援B型の施設です。今、口々に言われる「食育」に深く関わっています。EM菌を使った土作りから始まり、収穫した作物やそれらを加工して販売しています。

今年、山根所長をはじめ町や県そして町やたくさんの方々の皆様の大きなお力添えにより立派な加工所が完成しました。この加工所ではビニールハウスや畑で採れた作物から豆腐やジャム、ケチャップを作ります。これで自分出来る仕事が増える

と皆張りきっています。週に5日は豆腐や無農薬栽培の野菜を持って販売に行きます。おなじみさんもなくさん増え、恥ずかしくなったあいつも笑顔で言えるようになりました。これからの仲間を増やし頑張ります。皆さんありがとうございます。



(坪田二区)

大山町の 四季を通して

遠藤 豊

初春には、名和公を祀ってある「名和神社」に初詣に行く。そして春めいてくると牡丹が芽ぶき「公園」の桜が咲く。一年で最も爽やかな季節だ。梨の花も咲き「住雲寺」の藤が咲く。田植え・交配の季節だ。夏になると、下木料の「海水浴場」で、

憩い・遊び泳ぐ。秋になると、梨・稲の収穫そして紅葉の便りがとどく。「大山」も紅葉の頃。農業者が「ほっと」する季節だ。「名和スポーツ公園」で、野球・ソフトボールが。そして運動会も。冬になると、「なかやま温泉」が恋しい。「大山」

では、スキー、スノーボードをやる。こうした季節の変化を経て、政治家、文化人、スポーツ選手が生まれる。「地理的・歴史」的「価値」の沢山ある町だ。自然があり、季節が巡るかぎり、それらは、「永永」と続いていく。

あとがき

新大山町になって二期目、最初の六月定例議会が開かれた。議案説明、各常任委員会、一般質問、議案への質疑・討論・採決が行われた。

一般質問は、十三人の議員が行った。激しい選挙戦を反映して、新町長の施政を問う質問が集中した。また、くらし、福祉、教育、産業振興など、町民の生活に直結するテーマで舌戦を展開した。

今、私たち町民のくらしが大変なだけに、それを応援する税金の使い方はどうするのかの観点での論戦であったと思う。「住民福祉の増進」を

原点到、我々は行政へのチェック機能を十分に果たしていきたい。



《発行責任者》

議長 荒松 廣志

《広報委員会》

委員長 西山富三郎

副委員長 大森 正治

委員 池田 満正

委員 杉谷 洋一

委員 米本 隆記

委員 竹口 大紀